

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きを短くまとめて紹介します



シンガポール事務所

ベトナムで総務省・内務省共催の地方行政セミナーを開催

9月14日と15日にかけて、ハノイ市内において総務省及びベトナム内務省との共催でアジア地方行政セミナーを開催しました。まず総務省大臣官房総括審議官が「地域社会の基盤強化に向けた取組について」基調講演を行いました。また、日本の自治体からは島根県が「島根県における市町村合併」と、福岡市が「アジアのリーダー都市を目指して」というテーマでそれぞれ発表を行いました。

これに対しベトナムからは、内務省地方自治局長による基調講演と、10の自治体及び政府関係機関による事例発表が行われました。日本の発表時には質疑応答の時間が足りないほど多くの質問が上がるなど、非常に意欲的にセミナーに取り組む姿が見られました。

セミナーの最後には内務省副大臣から日本の発表について大変参考になったと謝辞がありました。



シドニー事務所

大勢で賑わうシドニーの桜まつり！ SAKURA と JAPAN を PR !!

8月18日から27日にわたり、シドニー・カンバーランド市のオーバーン植物公園において「SYDNEY CHERRY BLOSSOM FESTIVAL」が開催されました。いわゆる日本の「桜まつり」を模したイベントで、期間中は約9万人が訪れ、園内の桜のほか、日本食屋台や日本の文化イベントを楽しみました。

クレアシドニー事務所は最盛期を迎えた26、27日の週末にブースを出展し、国内の桜の名所を中心に日本各地をPRしました。多くの来場者にお越しいただいた中、日本に関心の高い方や具体的に日本への旅行計画を立てている方も多く、桜の開花時期やお薦めの旅行先に関する質問が寄せられるなど、ブースは両日とも終日賑わいを見せました。



パリ事務所

パリのユネスコ本部で岐阜県、長崎県、奈良県が世界遺産・無形文化遺産をPR！

9月4日から8日まで、パリのユネスコ本部にて、松浦晃一郎前ユネスコ事務局長が実行委員長を務める日本へのクリエイティブな旅展実行委員会が主催する「日本へのクリエイティブな旅展 2017」(Creative Travel to Japan 2017)が開催されました。

「継承から、新たな文化の創造へ」をテーマに、岐阜県、長崎県、奈良県の世界遺産や無形文化遺産のほか、54件の日本遺産、お茶や華道などの伝統文化とともに、アニメなどの現代文化が、パネル展示や映像等を通じて紹介されました。1週間の会期中、各自治体のブースではパネル展示に加え地域の工芸品展示や体験コーナーなど来場者を引き付ける工夫を凝らし、立ち寄った来場者が熱心に地域の魅力について聞き入っていました。



ロンドン事務所

みんな「なかま」に！高知県7蔵元がロンドンで日本酒をPR

9月18日、在英国日本国大使館にて、高知県7蔵元による日本酒の試飲会が行われました。ロンドンでのプロモーション3年目となる今年は、冒頭に高知県全18蔵元全体のコンセプト「TOSA NAKAMA SAKE」を発表。「[なかま]を象徴する土佐酒を飲み、一緒に楽しみましょう」という高知県全酒蔵共通の思いのこもったプレゼンテーションののち、英語での蔵元紹介と試飲が行われました。大吟醸や純米大吟醸のほか、ゆず酒や古酒の試飲も行われ、会場は香りや味の感想を述べ合う人で賑わいました。

翌日からは蔵元ごとにレストランやギャラリーでイベントを開催。県としての一体感と蔵元の個性の両方が感じられるプロモーション活動でした。





ソウル事務所

創刊 20 年韓国唯一のワイン関連雑誌が高知県の魅力を取材！

9月4日から7日にかけて、韓国のワイン関連雑誌「WINE REVIEW」取材団が、クリアソウル事務所との連携により、高知県を訪問取材しました。

4年連続水質日本一の奇跡の清流・仁淀川での屋形船クルージング、創業400余年の伝統ある日本酒蔵元、高知の味覚の代表・カツオのたたきのほか、維新の英雄坂本龍馬の縁の地など、豊富な資源に溢れた高知の魅力に触れました。特に龍馬にまつわる歴史に対し、大きな関心を示し熱心に話に聞き入る取材団の様子が印象的でした。

なお、今年度は群馬県（11月）、鳥取県（12月）、萩市（2018年2月）でも、同雑誌の取材を予定しています。取材内容が掲載される月刊誌は15,000部発行され、韓国国内での効果的な地域情報発信を行っていきます。



ニューヨーク事務所

レストランエキスポ開催

9月23日、ニューヨーク市において、ニューヨーク共同貿易社主催の「Japanese Food & Restaurant Expo」が開催されました。このイベントは、レストランの経営者などの業界関係者に向けて年1回行われている商談会で、日本から多くの企業や地方自治体が参加し、日本の牛肉や魚介の加工品、調味料、日本酒などのPR・販売が行われました。和歌山県の依頼を受けて当事務所から2人の職員が県特産の「紀州南高梅」および「梅胡椒」等のPRの支援を行いました。



北京事務所

料理体験を通じて日本の地域の魅力を発信！

9月2日、北京市内の日系料理教室「ABC Cooking Studio」で、宮崎県の郷土料理を体験するイベントを開催しました。これは、クリア北京事務所が、中国人にまだなじみの少ない地方の認知度を高めるために開催する取り組みで、日本への関心の高い中国人40人が参加しました。宮崎県職員による宮崎の代表的な観光地やグルメの紹介の後、参加者は「チキン南蛮」、「肉巻きおにぎり」、「レタス巻き」の調理を楽しみました。



JET プログラム事業部

SEA の指導力向上研修等に対し、助成金交付があります

スポーツ国際交流員（SEA）に一層効果的なスポーツ指導等をするために必要な知識・指導技術等を習得させることを目的とした研修に対し、クリアでは任用団体に助成金を交付しています。研修を行うことで、SEAの指導能力を向上させるだけでなく、競技関係者との新たなネットワークを構築することも期待されます。

助成金交付の詳細は以下までお問い合わせください。

■研修・カウンセリング課 Tel: 03-5213-1728



市民国際プラザ

「地域国際化ステップアップセミナー in SENDAI」開催報告

9月22日に「平成29年度地域国際化ステップアップセミナー in SENDAI」を開催しました。今回のセミナーは、ソーシャルビジネスと復興/地域活性化、国際社会の課題解決を共に考え、地域のブランド化促進を目指す機会として開催しました。

当日は、参加者・スタッフあわせて52人と、多くの方にご参加いただきました。詳しい報告はHPに掲載する予定ですので、是非ご覧ください。

市民国際プラザHP: <http://www.plaza-clair.jp/>



経済交流課

地域の国際協力事業をサポートします！

当協会では、自治体の国際協力事業の中から先駆的な役割を果たす事業をモデル事業として認定し、支援しています。

このたび、2018年度自治体国際協力促進事業（モデル事業）の募集を開始しました。

皆様からのご応募お待ちしております。

- ・対象：① 地方自治体 ② 地域国際化協会
③ ①または②と連携するNPO/NGO
- ・助成金額：単独事業の場合…上限300万円
共同事業の場合…上限500万円
- ・応募期限：11月30日（木）郵送必着

※詳しくはHPをご覧ください。

<http://www.clair.or.jp/j/cooperation/model/index.html>

■お問い合わせ先 経済交流課

Tel: 03-5213-1726 Mail: keishin@clair.or.jp



交流親善課

国際交流支援事業（助成金）への応募受付中です!!

地域の国際化を推進するため、地方公共団体および地域国際化協会が主体的に行う国際交流事業のうち、特に重要性、必要性の高い事業について国際交流支援事業の応募を受け付けています。

- ・対象：都道府県、市区町村、地域国際化協会
- ・助成金額：助成対象経費の1/2以内の額で上限は次の金額
海外で行う事業…上限500万円
国内で行う事業…上限300万円
- ・応募期限：11月30日（木）

※詳しくはHPをご覧ください。

<http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/page-5.html>

■お問い合わせ先 交流親善課

Tel: 03-5213-1723 Mail: koushin@clair.or.jp